

イスラエル経済月報(2017年4月)

在イスラエル日本国大使館 (担当: 経済班 松本理恵)

<目次>

イスラエルの動き (主な報道, 2017年4月) 2

主要経済指標..... 4

1. 経済成長率 (GDP)
2. 消費者物価指数 (CPI)
3. 貿易 (Export & Import of Goods)
4. 失業率推移 (Unemployment rate)
5. 為替推移
6. 公定歩合 (interest rate)
7. 外貨準備高 (foreign reserve)
8. 主要株価推移 (TA35)

日本-イスラエル 経済関係 (4月) 8

- 図研、3D プリンタ Nano Dimension 社と提携 (6日)
- J Bサービス、セキュリティ運用サービス提供でチェック・ポイントと協業 (10日)
- アイシン精機、TowerJazz 社の半導体を用い車体量産へ (12日)
- 「ジェリコ農産加工団地」10周年記念セミナー (23日)
- 東エレデバ、メラノックス製品を日本市場へ (20日)
- リツビ、イスラエル発のハイテク美容機器でエステを提供 (28日)

展示会・国際会議の今後の予定..... 10

- エネルギー SMART ENERGY WEEK (5月22~25日, テルアビブ)
- セキュリティ SECURITY ISRAEL (5月23~25日, テルアビブ)
- 医療 CANN10 (6月4~6日, テルアビブ)
- セキュリティ ISDEF EXPO (6月6~8日, テルアビブ)
- 金融 Fintech Junction Conf. (6月12日, テルアビブ)
- サイバー cyberweek (6月25~29日, テルアビブ)
- スタートアップ DLD Tel Aviv (9月3~7日, テルアビブ)
- 水技術 watec 2017 (9月12~14日, テルアビブ)
- スポーツ技術 APCST (10月15~19日, テルアビブ)
- セキュリティ NexTech 2017 (10月18日, ベエルシェバ)
- 産業技術 technology2017 (10月31日~11月2日, テルアビブ)
- 無人機 UVID 2017 (11月9日, エアポート・シティ)
- 空調設備 ACLIMA (11月7~9日, テルアビブ)
- 食・サービス Food & Hospitality Week (11月28~30日, テルアビブ)

※本資料は、報道や政府発表、企業発表等の一般公表情報を基に作成しております。

イスラエルの動き（主な報道，2017年4月）

（出典：報道）

- 2日 EU 代表団がイスラエルを訪問。イスラエルがキプロス、ギリシャと共に計画中の、世界最長となる全長 1,300 キロの海底ガスパイプライン建設について交渉予定。
- 3日 エルビット米国子会社が、米空軍の 5,000 万ドル調達を受託。ヘリコプター部隊のためのヘルメットディスプレイと追跡システムの調達で、2021 年までに納品する。
- 3日 パレスチナ西岸地区発スタートアップの支援のために設立された VC のサダラベンチャーズ、3,000 万ドルを調達。シスコ、グーグル、欧州投資ファンドなどが支援。
- 4日 保健省が一転、電子タバコ販売を規制対象に。リッツマン保健相は当初、無規制での販売を認めるとしていたが、関係省庁の専門家会合の結果、方針が変更された。
- 4日 第 1 四半期の新車納入、98,865 台の記録的水準に。規制強化前の駆け込み注文分が 1 月に納入されたのが主因。ヒュンダイ 18%、キア 11.4%、トヨタ 1.7%増。
- 4日 フォルクスワーゲン CEO がお忍びでイスラエルを訪問。モービルアイと戦略的パートナーシップを結んでおり、企業買収か R&D 拠点設置の準備訪問と見られる。
- 5日 中銀が新たなクレジットカード会社を承認。イスラカード、レウミカード、CAL に続く 4 社目として、オンライン小売業者 Tranzila が承認。競争性向上が期待される。
- 5日 カハロン財務相が、クラヌ党大会において、ペサハ前に減税計画を発表すると発言。未だ 3 月の税収は明らかになっておらず、選挙を睨んだ動きと見られている。
- 5日 保健省の検討委、砂糖・塩・脂肪を多く含む食品のパッケージに表示を義務づける規制強化案を提示。価格に転嫁され消費者の不利益につながるとして、業界は反発。
- 6日 カリッシュガス田が、国内のダリアパワーエナジー社らと、ガス供給契約の交渉中。イスラエル電力公社への供給価格より 25%安い 4.5 ドル/mBTU で交渉中の模様。
- 6日 中銀総裁によれば、天然ガスからの収益を運用するファンドとして設立されるイスラエルのソブリンファンドは、2020 年に運用が開始されるだろう。
- 6日 医療機器を手掛ける米ベクトンが、イスラエルのカエサリア・メディカル・エレクトロニクス社を買収した。買収金額は非公表だが、関係者によれば 2.5 億ドル。
- 7日 イスラエル航空工業、インドの中距離対空ミサイル調達を、当地防衛産業史上最大の 20 億ドルで受注。昨年 11 月のリブリン大統領インド訪問中に商談が行われた。
- 7日 ハポアリム銀行、クレジットカード部門の売却方法を検討中。競争規制強化を受けたもので、①市場への売却、②投資家への売却、③株主に配当として分配、が候補。
- 7日 ハイテク産業の多くは国防軍 8200 部隊の教育に根ざしているが、利益は国に還元されていない。有識者は「軍が知財を分有すれば、対内投資は冷え込む」と見る。
- 9日 テルアビブライトレールの入札、信号システムとその他システムの 2 つに分割されることが決定。コンソを組めない事業者も入りやすくし、競争性を高めるのが狙い。
- 10日 アイスランドの格安航空 WOW Air が、テルアビブ便を開設。レイキャビク経由で、北米往復チケットを 500 ドル前後で提供する。レイキャビク便は 6 月から週 4 便。
- 10日 国内最大のスーパーマーケット SuperSol、国内 2 番のドラッグストア New Pharm 買収へ。独禁法違反が危ぶまれたが、New Pharm の業績不振で認められる見込み。

- 1 2 日 イスラエルはエジプトへのタバ国境を閉鎖。ISIS への攻撃激化を受け、カツツ運輸相が決断。シナイ半島に旅行中のイスラエル人にも、即時帰国を呼びかけている。
- 1 2 日 国内 2 位の投資ファーム Meitav Dash は、昨年後半に合意した中国系ファンド XIO グループからの買収について、未実施のまま期限が過ぎた旨を TASE に通知した。
- 1 2 日 昨年 8 月開業の低価格ドラッグストア New Pharm, 拡大続く。ユダヤ系米国人から 400 万ドルの投資を得て、ハデラ等に 3 店舗を新設。多くの品を 10NIS で販売。
- 1 3 日 シェケル高や物価高にも関わらず、2017 年第 1 四半期のイスラエルへの来訪者数は 73 万 9,000 人 (前年同期比 24%増)。国内に 5,000 人の新たな雇用を生んだ。
- 1 3 日 カハロン財務相は、障害者向け年金を増額すると発表。今後 4-5 年かけて最大 50% 増加させる。財務省に特設チームが組織され、今後詳細が検討・発表される見込み。
- 1 3 日 オートモーティブ・ロボティック社、インドの軍事企業 Cron 社と協力覚書を締結。同社の自律警備車両「Amstaff」がインド・パキスタン国境警備に採用される。
- 1 9 日 高等教育審議会、総合大学での男女別教育開始を検討中。超正統派の進学率向上が目的。現在、別学はバルイラン大の特別コースや単科大学など一部に留まっている。
- 1 9 日 労働組合ヒスタドルート、イスラエル放送協会のリストラに公共部門のストライキで対抗する。予定日は 25 日。組合の代表選挙に向けた現職の人気取りと見る目も。
- 2 0 日 テルアビブ市内 3 エリア (テルアビブ港, ジャッファ港, 旧中央駅), 計 160 の小売店に対し、市当局が安息日の営業を認めるために出した条例を、高裁が承認した。
- 2 0 日 カハロン財務相、ハイファの医療センター開設式で、減税と補助金を盛り込んだ自らの経済政策パッケージは、クネセットで「案のまま承認されるだろう」と発言。
- 2 1 日 カハロン財務相の経済政策は、事前相談がなかったことでネタニヤフ首相を怒らせたが、中央銀行は同政策案に含まれる若い共働き家庭への支援策を評価している。
- 2 1 日 テルアビブライトレール (レッドライン) の入札に、中国系企業グループ 3 社が参加。独ドイツエバーンと仏 SNCF が参加を取り止めたことで、中国系のみとなった。
- 2 1 日 宇宙庁主催の Duchifat プロジェクト第二弾で、NASA がイスラエル人高校生 80 人以上が共同で製作した衛星を打ち上げる。第一弾は 2014 年に打上げ済み。
- 2 3 日 イスラエル人の海外旅行ニーズは伸びているが、航空会社の高レベルセキュリティ人材確保が追いつかず、航空会社は便数制限か価格引き上げが必要となっている。
- 2 3 日 OECD 幹部ピーター・ジャレット氏、「イスラエルは不動産価格のリスクの高さという観点では世界 5 位に入る」として、イスラエルの不動産バブル化を指摘。
- 2 4 日 財務省によれば 2 月期の住宅供給総数は 8,800 戸で、これは前月比 9%減、前年同月比 7%減となる。新築市場の過熱に少し落ち着きが見られた格好だ。
- 2 4 日 イスラエルの 6 番目の携帯電話運営会社として、新たに国内通信会社 Xfone018 社が通信省からの認可を得た。今後セルコム社とのネットワーク共有により運営する。
- 2 4 日 テルアビブ証券取引所の新 CEO が「個人投資家に 25%は高すぎる。10%になれば資本市場への参入が激増する」として、キャピタルゲイン課税の引き下げを求めた。
- 2 6 日 アシュドット港が日曜朝の到着便にも「シャバット割増」を課しているとして、集団訴訟が提起。港側は、シフト上、日曜朝の労働者にも割増給与が必要としている。
- 2 8 日 独立 69 周年の記念日、イスラエルの人口は 868 万人に。うちユダヤ人の人口は 648 万人 (74.7%) で、建国当時の 10 倍、現在の世界のユダヤ人口の 43%となった。

主要経済指標

1. 経済成長率 (GDP)

● 中央銀行の景気見通しは楽観的

中央銀行金融委員会は、4月の金利協議で景気を概ね楽観的に評価した。

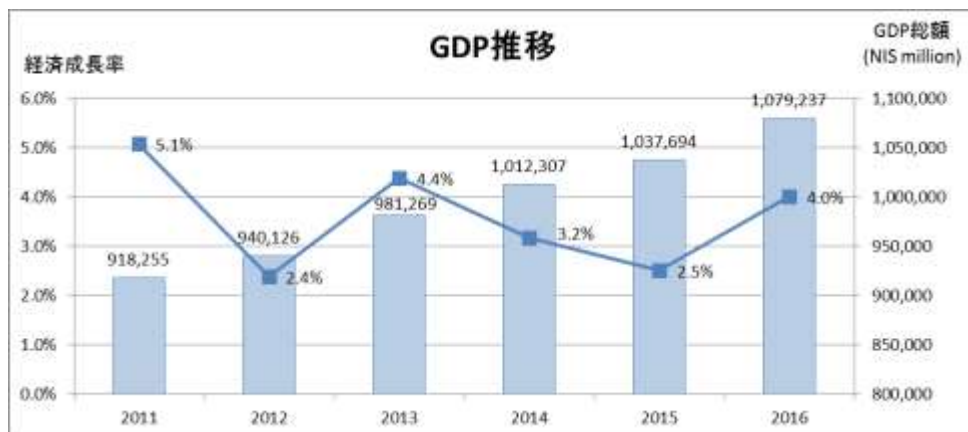
委員会メンバーの評価によれば「2017年第1四半期の成長率にステップアップがあった可能性が高い」としている。

住宅市場では、取引規模や住宅ローン量の長期的な低下に見られるよう

に、住宅ローン金利の継続的な上昇を背景として「活動レベルは継続的に落ち着く傾向」にあるとしている。ただし、「過去2カ月間、住宅価格指数は安定していたが、年率換算での価格は引き続き高率で上昇し続けている」として、この業界の動向に転換があったと結論づけるのは時期尚早であるとしている。

イスラエル経済は2016年は年間を通じて成長し、成長率は4.0%。中央統計局によれば、2016年の成長率は第2四半期5.4%、第3四半期4.3%、第4四半期6.3%であった。

出典：報道・グローブス紙 (<http://www.globes.co.il/en/article-boi-growth-may-have-accelerated-in-q1-1001185622>)

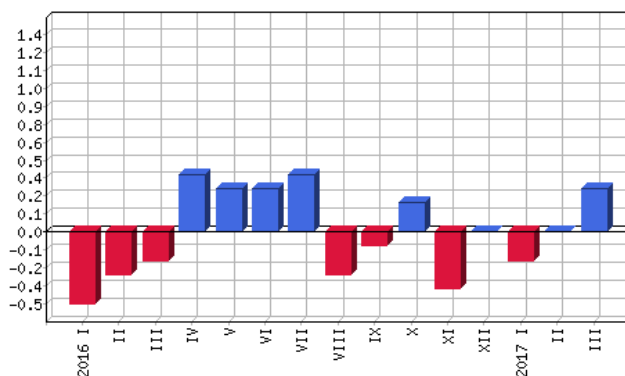


2. 消費者物価指数 (CPI)

● 3月期のCPIは前月比0.3%上昇。

2017年3月期の消費者物価指数は、前月期に比べ0.3%上昇した。特に上昇が大きかったのは衣料・靴(4.9%増)、文化・エンターテインメント(1.0%増)、住宅(0.8%増)であった。また、特に下落が激しかったのは運輸・通信(0.5%)であった。

2017年頭からの変化で見ると、全製品指標は0.1%増加している。対照的に、青果とエネルギーを除いた指標はそれぞれ0.1%下落しており、住宅を除いた指数は0.2%下落している。過去12カ月の変化を見ると、CPIは0.9%増加している。



出典：イスラエル中央統計局 (http://www.cbs.gov.il/reader/newhodaot/hodaa_template_eng.html?hodaa=201710101)

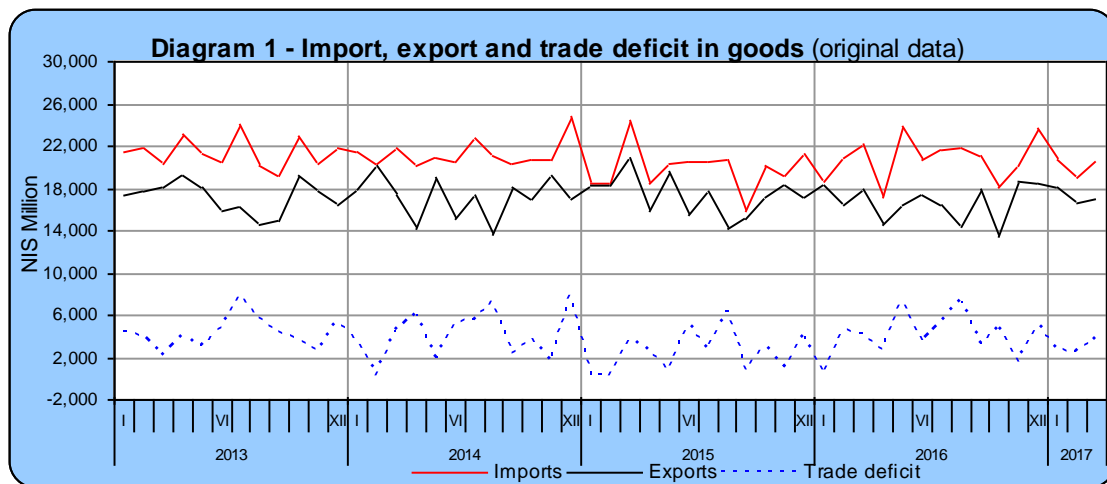
3. 貿易 (EXPORT & IMPORT OF GOODS)

● 2017年3月期の貿易赤字 (物品のみ) は38億シエケル

中央統計局の発表によれば、2017年3月期の物品輸入は208億NIS、物品輸出は170億NISであり、貿易赤字は38億NISとなった。

物品輸入は直前3カ月と比べて年率9.1%減少した。輸入の41%は原材料(ダイヤ、燃料除く)であり、21%が消費者製品、17%が機械、装置、産業機械であった。残り21%はダイヤ、燃料、船舶、航空機である。

物品輸出は直前3カ月と比べて年率1.8%減少した。鉱工業製品の輸出が全体の88%を占め、残りのうち9%がダイヤモンド、3%が農林水産品であった。工業製品輸出に占めるハイテク製品の割合は、直前3カ月より1.8%高い48%となった。中でも、電子部品及びボードの輸出が年率3.1%という高い伸びを見せた。



(※ — : 輸入, — : 輸出, - - - : 貿易赤字)

出典 : イスラエル中央統計局 (http://www.cbs.gov.il/reader/newhodaot/hodaa_template_eng.html?hodaa=201716111)

4. 失業率推移 (UNEMPLOYMENT RATE)

● 2017年3月期の失業率平均は4.2%で、前月(修正値)と変わらず

中央統計局は、2017年3月期の失業率は4.2%であり、2017年2月期(修正値)と同じであったと発表した。性別で見ると男性は4.2%、女性4.3%となった(いずれも前月同)。

15才以上人口における労働人口は396.0万人、うち被雇用者数は379.3万人(男性200.6万人、女性178.7万人)となった。労働参加率は63.8%で、前月0.2%減となった。



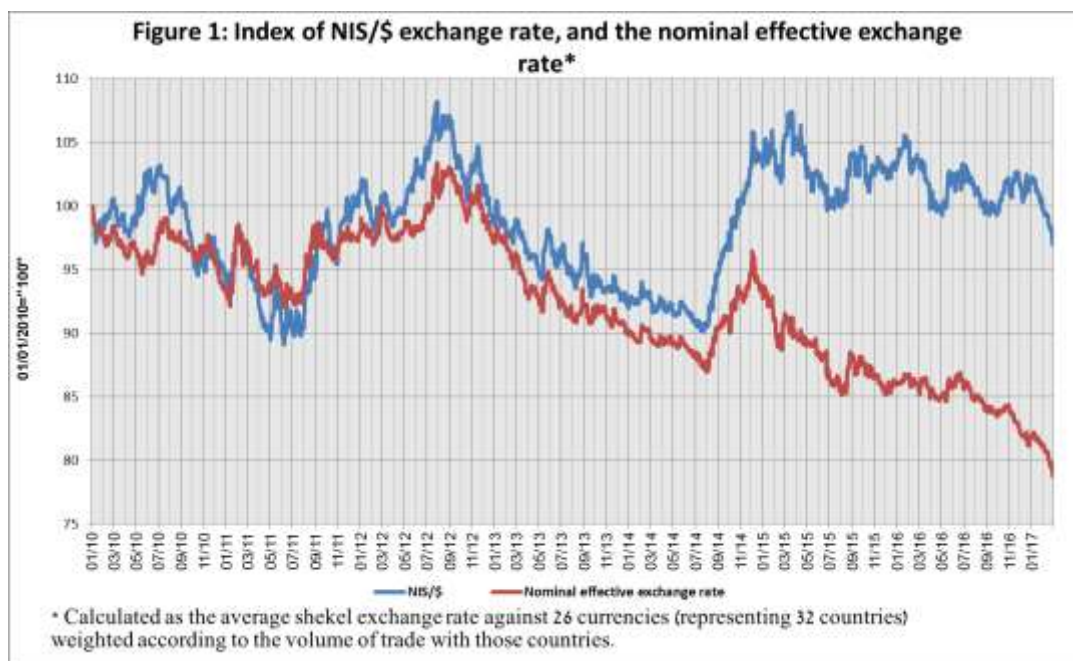
出典 : イスラエル中央統計局 (http://www.cbs.gov.il/reader/newhodaot/hodaa_template_eng.html?hodaa=201720118)

5. 為替推移

● 世界的なドル安傾向の中、シェケルは対ドルで上昇

2017年3月期、シェケルは対ドルで約0.7%高、対ユーロで約0.1%安となった。イスラエルの主要貿易相手国に対する実効為替レート（貿易加重平均）は、約0.4%高となった。世界的には、3月期には主要通貨に対してドルは弱まる傾向にあり、対ユーロ0.7%安、対日本円0.3%安、対スイスフラン0.4%安、対英ポンド0.1%安となった。

為替市場全体の取引量は、約1,790億ドル（1日あたり取引量は約81億ドル）で、前月比11%増となった。



(※— : シェケル/ドル相場, — : 実効為替レート)

出典：イスラエル中央銀行 (<http://www.boi.org.il/en/NewsAndPublications/PressReleases/Pages/9-4-17-ForeignCurrencyMarket.aspx>)

6. 公定歩合 (INTEREST RATE)

● 公定歩合は0.1%で据置き。引上げは2018年以降。

中央銀行は6日、公定歩合を0.1%に据え置くことを決定。この利率は既に2年以上変更されていない。中銀によれば、公定歩合の引き下げは2018年第2四半期以降に行われることになるであろう。フルグ中銀総裁は、インフレ率の伸びが期待を下回っていると上で、「インフレ率は2018年第2四半期まで目標範囲に到達しないと見られるところ、公定歩合の引き下げについても2018年第2四半期以降になるだろう」と述べた。

経済成長見通しは、2017年が3.2%から2.8%に引き下げられた一方、2018年の見通しは3.1%から3.3%に引上げとなった。引き下げの理由は、自動車関連取引が、2017年1月の増税前の駆け込み需要で2016年に前倒しになり、2017年は下火となることが見込まれるためである。

出典：イスラエル中央銀行 (<http://www.boi.org.il/en/NewsAndPublications/PressReleases/Pages/6-4-17InterestRate.aspx>)

7. 外貨準備高 (FOREIGN RESERVE)

- 中銀は3月期に、16億ドルを買入れ、準備高は過去最高を更新。

中央銀行による5日の発表によれば、2017年3月末時点の外貨準備高は、過去最高を更新する1,033億ドルに到達した。

前月比12.71億ドル増加。理由は、中央銀行による15.85億ドルの外貨購入と、再評価による5.49億ドルの価値増加である。他方、政府移転6.49億ドルと民間移転2.14億ドルにより、増加幅は減少した。

出典：イスラエル中央銀行 (<http://www.boi.org.il/en/NewsAndPublications/PressReleases/Pages/ForexReserves-5-4-17.aspx>)

8. 主要株価推移 (TA35)

3日、テルアビブ証券取引所(TASE)は、二つの新たな指標 TASE-SME150 と、TA-Rimon を発表した。前者は主にイスラエル国内の大企業・中小企業150社を均等に重み付けしたもので、後者は大企業中心の約220社を偏り過ぎないように重み付けしたものである。

25日、TASE ベン＝ゼエブ CEO は、戦略計画「企業、投資家、公共にとっての第一希望」を発表した。

月間推移



年間推移



出典：テルアビブ証券取引所 (<http://www.tase.co.il/eng/pages/homepage.aspx>)

日本-イスラエル 経済関係（4月）

（出典：各社等発表，報道）

図研、3Dプリンタ NANO DIMENSION 社と提携（6日）

図研と、イスラエルの Nano Dimension 社は、3Dプリントのユーザーエクスペリエンスの向上、そして多層プリント基板の試作納期を改善する取り組みのために協業することを発表した。3Dプリンテッドエレクトロニクス技術分野のリーダーである Nano Dimension 社は、今回の提携により図研のシステムレベル設計ソリューション「CR-8000 Design Force」が持つネイティブ 3D 設計情報を活用した電子技術の実装プロセスへの適用を目指します。

Nano Dimension 社は、多層プリント基板用の 3D プリンタ「DragonFly 2020」や 3D プリンタ用のナノテクノロジーベースの導電性および誘電性インクなど、高度な 3D プリンテッドエレクトロニクスプラットフォームを開発している。同社のプリンタは、世界的に業界とメディアの注目を集めている。今後の開発計画では、フレキシブル基板や内蔵部品などを含むテクノロジーに対応するための拡張を予定している。

出典：図研発表 (http://www.zuken.co.jp/info/detail/nano_dimension_3d_printing.php)

J Bサービス、セキュリティ運用サービス提供でチェック・ポイントと協業（10日）

J Bサービス株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：三星義明）は、ゲートウェイからエンドポイントまで、包括的なセキュリティ製品を提供するチェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：Peter Hallett、以下 チェック・ポイント）と協業し、J Bグループのサイバーセキュリティ対策の総合ブランド「OPTi Secure」において、チェック・ポイント製品を活用した運用サービスを5月末より提供する。

出典：JB サービス社発表 (<https://www.jbsvc.co.jp/news/20170410.html>)

アイシン精機、TOWERJAZZ 社の半導体を用い車体量産へ（12日）

アイシン精機と、イスラエルの TowerJazz Semiconductor 社は、アイシン精機が自動車メーカー向けの自動車車体部品として今後製造する新世代の自動車デバイスの量産について、TowerJazz 社によるパワーマネジメントプラットフォームを用いることを発表した。

TowerJazz のパワーマネジメント技術は、子会社である TowerJazz Panasonic Semiconductor 社の日本工場にも展開されている。アイシン精機と TowerJazz は、製造を同日本工場にも傾斜させ、マルチファブ製造の自由度を高める計画だ。

出典：タワージャズ社発表 (<http://www.towerjazz.com/prs/2017/0412.html>)

「ジェリコ農産加工団地」10周年記念セミナー（23日）

23日、パレスチナのジェリコで「ジェリコ農産加工団地（JAIP）」10周年記念セミナーが開催された。日本から岸信夫外務副大臣が出席し、日本政府が進める「平和と繁栄の回廊」構想をはじめとしたイニシアティブにより、パレスチナ及び地域の経済発展に貢献していく考えを表明した。

出典：外務省 (http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_004526.html)

東エレデバ、メラノックス製品を日本市場へ（20日）

東京エレクトロン デバイス株式会社（本社：横浜市神奈川区、代表取締役社長：徳重 敦之、以下TED）は、Mellanox Technologies, Ltd.（本社：イスラエル ヨークナム、CEO：Eyal Waldman、以下メラノックス社）と販売代理店契約を締結し、Ethernet ソリューションの販売を2017年4月20日より開始する。

TEDでは、メラノックス社のEthernetスイッチ、Ethernetアダプタ、およびインターコネクト製品を、サーバーやストレージのメーカー・パートナーを中心として、今後3年間で10億円を目標に販売活動を行う。また、TEDの取り扱うハイパーコンバードインフラ製品（Nutanix）やオールフラッシュストレージアレイ製品（Pure Storage）と組み合わせた販売も行う。

出典：東京エレクトロン デバイス社発表 (http://www.teldevice.co.jp/pro_info/2017/press_170420.php)

リツビ、イスラエル発のハイテク美容機器でエステを提供（28日）

株式会社リツビ（本社：東京都江東区 代表取締役社長：篠崎 信一）は、イスラエルの美容・医療機器メーカー、アルマレーザーズ社の美容機器を使用したエステティック専用トリートメント、「サーモ・シェイプ Deep」を発売した。

アルマレーザーズ社は、レーザーや光、RFや超音波を用いて施術を行う機器を開発・生産し、世界中のエステや美容医療のマーケットに先端のテクノロジーを供給しているグローバル企業。

出典：リツビ社発表 (<http://ritsubi.co.jp/newsarchive/1491/>)

展示会・国際会議の今後の予定

※イベント会議の詳細情報については、各イベント事務局のウェブサイトを御覧ください。

※日本からお越しになる方には、現地企業との個別アポイント等、各種サポートをさせていただきますので、御連絡ください。ぜひ大使館にもお立ち寄りください。

エネルギー SMART ENERGY WEEK (5月22～25日, テルアビブ)

イスラエルスマートエナジー協会が主催するエネルギーについての連続国際会議。電力ビジネスイノベーションフォーラム, 産業スマートエナジー会議, 学術スマートエナジー会議, スマートエナジーハッカソンが実施される。

<https://www.isea.org.il/copy-of-energy-week>

セキュリティ SECURITY ISRAEL (5月23～25日, テルアビブ)

ホームランドセキュリティ, 軍・警察用技術に関する国際会議・展示会。

<http://www.securityisrael.com/>

医療 CANN10 (6月4～6日, テルアビブ)

医療用大麻に関する技術についての国際会議・展示会。今回は第2回開催。

<http://2017.canntencon.com/>

セキュリティ ISDEF EXPO (6月6～8日, テルアビブ)

政府, 防衛, ホームランドセキュリティに関する国際技術見本市。これらの分野におけるビジネス案件創出のプラットフォームとなる。

<https://www.isdefexpo.com/>

金融 FINTECH JUNCTION CONF. (6月12日, テルアビブ)

金融業界や銀行業界にて用いられる「フィンテック」技術についての国際会議・マッチングイベント。同分野の多国籍企業, スタートアップ, VCなどが参加する。

<http://www.fintechjunction.com/>

サイバー CYBERWEEK (6月25～29日, テルアビブ)

サイバーセキュリティ分野の国際会議。テルアビブ大学主催。産業界, 技術専門家, 学術研究者, スタートアップ, 投資家, 外交官, 武官, 政策決定者などが参加する。1週間にわ

たって開催される大型の会議で、メイン会場でのカンファレンスに加えて、多数の併催イベントが開催される。

<https://cyberweek.tau.ac.il/2017/cyberweekonepage.pdf>

スタートアップ DLD TEL AVIV (9月3～7日, テルアビブ)

スタートアップの祭典。多数の技術系スタートアップに加え、ベンチャーキャピタルや、多国籍企業のR&Dセンター、海外企業等が来訪する。ハイテク分野での国際会議・展示会。街全体を巻き込んだスタートアップ展示やミートアップイベントなどが開催される。

<http://www.dldtelaviv.com/>

水技術 WATEC 2017 (9月12～14日, テルアビブ)

水・環境技術に関する国際展示会。水・エネルギー・環境分野の企業が主として参加し、新たなビジネスパートナーや投資家等を見つける機会となる。水技術に関するカンファレンスや専門家パネル等のイベントも多数併催される。

<http://watec-israel.com/>

スポーツ技術 APCST (10月15～19日, テルアビブ)

スポーツテクノロジーに関するアジア太平洋会議。科学者、起業家、産業界の代表を対象とし、21世紀のスポーツと関連技術についての新たなソリューションに関する議論の場を提供。対象は、軍の兵士からオリンピック選手まで幅広い。

<http://apcstcon.com/>

セキュリティ NEXTECH 2017 (10月18日, ベエルシェバ)

南部都市ベエルシェバにて開催される次世代技術の展示会。イスラエルのサイバーセキュリティ技術の開発拠点となるベエルシェバの地で、ベングリオン大学や国防軍、関連企業などで生み出される最新技術がお披露目される。

<http://www.nextech-conference.com/> (配信時点でウェブサイトは昨年情報)

産業技術 TECHNOLOGY2017 (10月31日～11月2日, テルアビブ)

産業技術分野の国際展示会。第24回を迎え、イスラエルにおける同種の展示会の中でも最大級である。今年は15,000人の来場が見込まれる。展示会と共に、セミナーやB2Bミーティングも開催。

<http://www.fairs.co.il/en/tech/>

無人機 UVID 2017 (11月9日, エアポート・シティ)

遠隔無人運転 (Remote Unmanned Vehicle) に関する国際会議。例年 20 カ国以上から約 1,500 人が参加している。昨年のテーマは「On the Brink: Remote Unmanned Vehicles Entry into the 3rd Generation」。

<http://uvid2016.israeldefense.co.il/> (昨年情報)

<http://conferencesandexhibitions.israeldefense.co.il/idf-smartforms/node/253>

(2017 年のウェブサイトは未公開のため、今後情報配信を希望する場合は上記より登録)

空調設備 ACLIMA (11月7~9日, テルアビブ)

空調, 冷蔵, 暖房, 換気設備, 及びエネルギー効率に関する国際展示会。2年に一度開催される。

http://www.stier.co.il/ACLIMA/index_en.asp

食・サービス FOOD & HOSPITALITY WEEK (11月28~30日, テルアビブ)

食産業・サービス産業に関するイベントを集中的に実施する「フード&ホスピタリティウィーク」の一環として, 食品・飲料品の国際展示会「ISRAFOOD」, サービス業の設備に関する国際展示会「HOTEX」, キッチン・レストラン用品を扱う「KITEX」, 製菓・製パン業関連製品を扱う「Bake-Cake」が開催される。

http://www.stier.co.il/ISRAFOOD/index_en.asp

http://www.stier.co.il/HOTEX/index_en.asp

<http://www.fairs.co.il/en/fairs-event/bake-cake/>

<http://www.fairs.co.il/en/fairs-event/kitex/>